



# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



## Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity  
Serve with Love  
Work for Peace

真心の行動●慈愛の奉仕●平和に挺身  
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンR.I.会長

### ●本日の例会

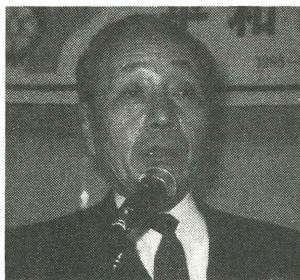
4月19日／第459回例会

### ■第2回クラブフォーラム

テーマ「ロータリー情報」(例会後13:10～14:30)

### ●先週報告

4月12日／第458回例会



高梨 昌氏

#### ■卓話「最近の雇用と失業」

日本労働研究機構研究所長 高梨 昌氏

#### ■幹事報告

地区丸山ガバナーより、国際大会「カナダ・カルガリー6/23～6/26」参加予定者をRIブラウン会長へ報告する関係上、参加者数を報告するよう要請がありました。ご参加予定の方は、至急事務局までお知らせ願います。

#### ■出席委員会報告(佐々木副委員長)

3月修正出席率89.04%、残念ながら90%達成出来ませんでした。残り3ヶ月皆様御協力宜しくお願い致します。

#### ■次期幹事報告 次年度理事・役員・委員長合同会議を4月12日(金)例会後開催致します。

#### ■慶事披露●誕生日祝／立林英昭君(4月16日) 小杉眞史君(4月18日)

#### ●100%出席／高須康有君(7年)

#### ■出席報告●会員71名・出席51名・欠席20名(出席規定免除者3名)

ビジター(6名 敬称略)／覚本孝二(浦和東)、長坂健二郎(東京)、吉田輝彦(東京葛飾東)、山内秀男(東京神田)、畑 泰之(東京西南)、成瀬 勝(東京原宿)

### ニコニコBOX

順不同・敬称略

4月12日16件 50,000円

95～96年度累計1,819,563円

多額のご寄付を有難うございました。

渡部一元、横山秀明、平井逸夫、山川政樹、加藤昌明、中村 宏、佐藤定宏、宮本正祥、柴藤清三郎、馬場一廣、高須康有、清原元輔、立林英昭、新保國彦、世良和信、村山公士  
紙面の都合上コメントを省略させていただきました。

### ■派遣青少年交換学生・塩屋未来さんからの近況報告

塩屋さんは去る3月23日留学先のオーストラリアへ出発、第1報が届きましたのでお知らせいたします。  
[ホストクラブ：Sylvaria RC(D9750) ホストファミリー：Dor West]

皆さんこんにちは。お元気ですか。私はオーストラリアに無事到着することができました。私の乗った飛行機は21時15分発、窓の外をのぞくと、驚いて声もでない程、沢山の星が、ほんとうにすぐそばにあるかのように見えるのです。まるで、写真で見る天の川を実際に見ているかのようなでした。到着も近くなった頃には、しだいに明るくなり、この景色も説明するのは不可能なくらい美しかったです。空港に着き、荷物を持って出ると、名前を書いた紙を持った人達が沢山いましたが、私もすぐに自分の名前を見つけることができました。最初のホストファミリーと、次のホストファミリー(私は決まっているのを知りませんでした。)と、Sylvaria RCの他のメンバーの人達が迎えに来てくださいました。私の最初のホストファミリーは、West家の人達です。ホスト父の名前はDor、ホスト母はMarina、ホスト兄はGerry、ホスト姉はNikkiです。(私は家族を名前と呼ぶことになっています。)あともう1人はDorのお母さんのNanaで、近くの家に住んでいます。この人達が私の家族です。しかし、Gerryは最近結婚したので、今はこの家には住んでいません。車で40分くらいの場所に住んでいるそうです。Marinaは、NikkiとMimi(家族の1人のプードル)と私の名前を時々まちがえます。私はSylvaria High Schoolに通いますが、イースターの休みの後からです。制服があり、上は白のブラウスと、冬になると紺のブレザー、下はやはり紺のスカートかキュロットかズボンを選ぶことになっています。私はブラウスに関してはNikkiの使っていたものを使う予定です。(Nikkiはもう大学生です。)私は毎日何をしているかというと、幼稚園に行っています。というのは、Marinaが幼稚園の園長なのです。月曜日から金曜日までで、土、日曜日は休みです。集まる人

数は毎日24人前後です。年齢は3才から5才までで、学年はなく、皆一緒に絵を描いたり、おどったり、外で遊んだりしています。このようにすると、自然に年に関係なく友達ができるので、とてもよいと思いました。

話は前後しますが、私の今いる場所について、少し書きたいと思います。私は今Sylvariaと呼ばれる所にいて、ここはSydneyから距離にして25km程南に行った所です。目の前はBotany Bayで、歩いて3分位でもう海です。私は海が好きなので、うれしくてたまりません。本当に贅沢な眺めです。

私のホストRCであるSylvania RCは、そんなに大きなものではないようです。26日には、DorとMarinaとNikkiと一緒にSylvania RCに行きました。この日は、7時15分に家を出ました。こんな早く家を出たからには、さぞかし遠い所まで行くのだらうと思い、どの位車に乗っているのか尋ねた所、

“Two minutes”と言われました。私の尋ね方がおかしかったのか等を考えていると、本当に2分で着いてしまいました。私はもっと遅い時間の例会に出席するのだと思っていたのですが、それはまちがいで、朝の例会だったのです。皆そこで朝食を食べ、それから仕事に行くのです。私もそこで朝食を食べ、自己紹介のような短い挨拶をしました。私はホストクラブの色々な人と、テニスやバドミントンもしに行きました。来週も朝の会に出席する予定です。

書き忘れましたが、幼稚園では、皆小さくて、何をしても一生懸命で、本当にかわいくて仕方ありません。もうすぐ幼稚園のピクニックがありますが、今は、人の言っている事がはつきりとききとれ、自然と返事ができるようになりたいです。

追伸 お見送りありがとうございました。



## ■新会員からのメッセージ

立 林 英 昭

〔95.7.28入会  
職業分類 情報処理サービス〕



### 「出会いのコスモロジー」

#### (I)はじめに

1992年、アフリカ地域産業経済調査団への参加をご縁に、昨年7月宮武先輩のご推挙により入会させていただきました。クラブ精神を縦系に、人との確かな出会いを横系に、多彩な人生を織りなしたいものと思っています。

#### (II)銀の匙とクリスマスケーキ

鈍色(にびいろ)がかかった銀の匙を我家で見るとつけ想いおこすことがあります。

それは、昭和25、6年頃、我家の岡山時代に、亡き父がロータリアンとして、クラブライフのスタートを切り、亡くなる迄の20年近くのコレクションである。当時、私は8、9才頃であったから、銀の匙よりクリスマスケーキの方がはるかにうれしかった。偶の休日の昼下りなどに、いま尚健在でいてくれる87才の母と紅茶を楽しむ時、茫々たる往時を懐かしんでいます。

従って、私とロータリアンの最初の出会いは、ケーキと銀の匙ということになる。2月16日岡山中央RCで、最初のメークアップをさせていただき、ご縁の不思議さに驚いています。

#### (III)卓話によせて

##### (其ノ一) 加藤幹雄氏の卓話 (2/2)

当日の主題の国際文化会館と西村光夫氏(GHQ、国鉄顧問、スウェーデン社会研、日瑞基金設立者)は深い関係にあった。西村氏は私の30年にわたる人生の師ともいえる人で、知的な世界、文化、芸術の世界へ開眼させてくれた方です。同氏は会館設立者松本重治氏とは親戚同様の親交であり、会館設立時には、参与として松本氏の右腕的役割を果たされたお話をよく聞かされていた。即ち、設立者として西村氏の同級生であった、建築界の俊秀前川男氏を推したこと。工事中は毎日のようにボール博士と現場視察をし、進行上のごことで意見を異にし苦労したこと等を聞き及んでいた。こうしたいきさつから当日の卓話から亡き西村氏との交遊をしみじみと偲ぶひとときでした。

##### (其ノ二) 伊従寛氏の卓話 (2/9)

学生時代、正田彬教授の下で、独禁法のゼミ生として、しばしば公取に出入りしていた。当時(S.38年頃)公取は内幸町の勧銀本店隣接地に在り、そこで若き日の伊従氏(当時経済部におられたはず)にご教示いただいた事、又就職先が隣の勧銀とは当時は思いもかけないことで、黒づくめの学生服を着た玄武のときに時空をこえて思いを馳せた一刻でした。

小 杉 眞 史

〔95.10.6入会  
職業分類 コンピュータシステム〕



昨年10月6日に沖会員、青野会員のご推薦により入会させていただきました。ロータリーに入ったせいではないと思いますが、こここのところ時間の経つ速さが日に日に加速されて来たように思えます。世の中の変化のスピードも「超」のつく速さですし、さまざまな自然現象や社会現象についても、想像を絶する事象が次々に起こっているからかもしれません。

さて、ロータリーの会員として活動状況をお世話出来れば良いのですが、さしたる成果も挙げられず、皆様のご熱心なご活躍をただただ横でみているだけで、何かと「足手纏い」にならないよう必死について行くといった状況です。

先日情報委員会の宮武委員長、青野副委員長の特訓を受け新会員研修会、炉辺会合等でクラブのあり方、アクティビティ等々洗脳されましたが、まだまだ判らないことが沢山あり、徐々に勉強しようと努力中であります。早く馴れることに専念したいと思っております。

私事で恐縮ですが、好きな言葉の一つに「一期一会」という語句があります。学生時代からサラリーマン生活を通じ貴重な人間の絆によって支えられ、今日の私が在るのは私をとりまくお付き合い頂いた皆様のお陰と何時も心に言い聞かせております。そんな意味から後輩諸氏に「決して自分一人で今日が築けるものではない。人それぞれ必ず支えてくれた人、世話になった人があって、その上に自分の能力・努力が報われ、評価につながるものである。従って不遜な態度を取ることなく、礼を失することもないように、人との出会いを大切に人間関係を大事にしたい。」と酒席で偉そうに説教じみた話をして失笑を買っています。

私の人生にとって新南ロータリークラブの素晴らしい皆様と知り合えたこと、新たな交友関係が生まれたことを考えますと、正に「一期一会」を大切にしてお仲間に入れて頂いた皆様、ならびに当クラブのお役に立つよう、一日も早く馴れて「奉仕する心」を実践したいと思っております。今後も「人のネットワーク」のひろがりさをさらに大切に、よりよい人間関係を築いていきたいと思っておりますので、引き続き皆様の暖かいご指導、ご支援、ならびに厳しいチェックを宜しくお願いする次第です。

## ■ポリオ・プラス情報 “財団補助金がポリオの診断に必要な「ウイルス探偵」を訓練”

世界保健機関(WHO)に対するロータリー財団補助金US167,300ドルは、本年度、8人の「ウイルス探偵」が世界でも第一級のウイルス研究所で受ける専門的訓練を支払うものとなります。8人のウイルス専門家は、3カ月間の研究の後、ポリオ診断の際のスピードと正確さを改善する知識をもち、自身が働く重要な地域の研究所に戻ります。

このプロジェクトは、世界からこの疾病を根絶させる努力をするために、ロータリーとWHOが引続き提携して行くことを強調するものです。WHOに対する補助金は、財団のポリオ・プラス資金の投資からもたらされた収益金で、初めは、撲滅作戦を進めるための医学的専門知識、ワクチンの研究、診断方法の研究、監視に対する資金を含むものでした。

アフリカ、アジア、中東から選ばれた8人のウイルス学者は、各々、最も程度の高いウイルス発見方法を実施できる世界でも特に専門的な6つの研究所の1つで研究に従事しています。

最初に訓練を受けることになったのは、ジャカルタにあるインドネシア保健省の伝染病研究センターで働くジェンドロ・ワヒューホノ医博です。同博士がオランダで研究を開始したのと同時期に、インドネシアでは、2,300万人の子供を対象にポリオのワクチンを投与する、同国で初めての全国予防接種キャンペーンを開始しました。14,000の島からなる、この国で展開された2週間の予防接種活動にはUS100万ドルのポリオ・プラス補助金が授与されました。1986年以来、インドネシアのポリオと闘いにはUS1,000万ドルが支給されています。

「Rotary World」より

## ●次週予告

4月26日/第460回例会

## ■ビュッフェスタイル例会のため卓話はありません

(会場:シリウス 37F)

### 東京新南ロータリークラブ

会長: 山川政樹 副会長: 柴藤清三郎 幹事: 関 征春

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

### 〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、  
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、  
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、  
吉岡 琢磨、大村 富俊(編集担当順)